Creative Enzymes®

ネイティブ ヘリックス ポマティア サルファターゼ

Cat. No. NATE-0687

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	硫酸エステラーゼ EC 3.1.6.1 は、硫酸エステルの加水分解を触媒するエステラーゼクラスの酵素です。これらは、ステロイド、炭水化物、タンパク質など、さまざまな基質上に存在する可能性があります。硫酸エステルは、さまざまなアルコールやアミンから形成されることがあります。後者の場合、得られたN-硫酸塩はスルファメートとも呼ばれることがあります。硫酸エステラーゼは、環境中の硫黄の循環、リソソーム内の硫酸化グリコサミノグリカンおよびグリコリピッドの分解、細胞外空間における硫酸化グリコサミノグリカンの再構築において重要な役割を果たします。硫酸転移酵素と共に、硫酸エステラーゼは硫酸エステルの合成と分解のための主要な触媒機構を形成します。
用途	ヘリックス・ポマティア由来の硫酸エステラーゼは、動物飼料およびサプリメントにおけるステロイド誘導体のバイオアッセイに基づくスクリーニングの開発に関する研究で使用されました。ヘリックス・ポマティア由来の硫酸エステラーゼは、また、人間における17α-エストラジオール代謝の新しい側面を明らかにする研究でも使用されました。
別名	EC 3.1.6.1; 9016-17-5; サルファターゼ; ニトロカテコールサルファターゼ; フェノールサルファターゼ; フェニルサルファターゼ; p-ニトロフェニルサルファターゼ; アリールスルホヒドロラーゼ; 4-メチルウンベルフェリルサルファターゼ; エストロゲンサルファターゼ; アリールサルファターゼ

製品情報

由来	ヘリックス・ポマティア
形態	タイプI、粉末; タイプII、水溶液。
EC番号	EC 3.1.6.1
CAS登番号	9016-17-5
活性	タイプI、> 10,000単位/g 固体; タイプII、> 2,000単位/mL。
単位定義	1ユニットは、pH 5.0、37°Cで1時間あたり1.0μmoleのp-ニトロカテコール硫酸塩を加水分解します（30分のアッセイ）。

保管・発送情報

保存方法	−20°C